

# 大阪春闘共闘ニュー

## 格差と貧困をなくし、誰もが安心して働ける社会めざして

### 大阪市が総合評価方式導入！ 時給1000円、月額17万円へ

大阪市は、市庁舎清掃業務委託、市交通局庁舎清掃業務委託、市立大学学舎清掃業務委託などについて、2012年4月から一般競争入札を改め、総合評価指揮入札に改正します。

今回の総合評価方式への変更で、低価格競争に一定歯止めをかけ、その対象も広がっています。評価基準の「賃金・労働条件」で、時給1,000円、月額17万円を明らかにしたことは、当面の時間給要求の実現という点で、評価できます。2月からの試行実施で、建交労組織している地下鉄構内清掃員の清掃員の時給が786円から1,000円にアップしました。これは落札業者が「賃金・労働条件」を改善したからにほかなりません。

しかし、「賃金・労働条件」の点数が130点中2点の評価でしかなく、総合点の高い業者が落札することとなっている以上、時給1,000円、月額17万円が保障されているわけではありません。大阪労連は、大阪市に対して、「賃金・労働条件」改善が担保できる制度としていくことを要求していくと同時に、府下自治体でも同様の制度の導入を求め運動を強めていきます。

## 安心して働き続けられる職場へ

### 一羽曳野市、嘱託員の雇止め「10年枠」を撤廃一

大阪自治労連加盟の羽曳野市職労は、保育、学童、図書館など市民サービスの担い手として働いている嘱託職員が10年で雇い止めされている問題で、この春闘で必ず撤廃させようと、たたかいをすすめてきました。

雇用問題で、嘱託員の「10年枠」の雇い止めを制度として廃止することは、この間の大きな壁を突破したものと画期的な成果です。同時に「10年枠」のもとで、10年間は雇用が約束されていた取り扱いが無くなりますが「普通に働けば、再雇用される」という基本的考え方を明らかにさせました。

しかし、所属長の恣意的な判断による雇い止めはないとしても、業務の民営化、さらには職場そのものの廃止など、全く雇い止めの危惧が解消されたわけではないことも事実です。雇用を守ることや市民のために働きがいがある仕事にしていくためにも、組合加入をすすめ、労働組合を強く、大きくするために奮闘していきます。

## 景気回復は賃金底上げから

### ＝非正規労働者部会が春闘宣伝＝

3月21日、非正規労働者部会として初めて京橋で春闘宣伝を行い、11名が参加しました。宣伝では、大阪府最低賃金786円の金額が入ったピラを配りながら、「大阪の冷え込んだ景気を回復していくためには、労働者の賃金の底上げが必要です。」「最低賃金を引き上げて、非正規労働者の働き方を変えていきましょう。」と訴えました。

また、公務職場で働く非正規が官製ワーキングプアに陥っている実態



や、ダイキン工業「有期間社員」雇い止め撤回裁判を闘っている青山さんからは、自らの体験を話しながら、「今のように簡単に雇い止めされる社会を、次の世代に受け継がせないように安心して暮らせる社会に変えていきましょう。」と訴えられました。